

豊庄だより



第 527 号 2018 年 8 月 6 日

福岡市早良区南庄 2-26-13
社会福祉法人林生会豊庄保育園
園長 西尾 達

明日(8月7日)は立秋だというのに、毎日暑い日が続いています。さて、今日8月6日は、広島原爆の日です。毎年この日は、園庭でダイインをして原爆を追体験し、戦争と平和について考えてきました。



ばら組

今年も…と思いましたが、豊前市の中学校から、8月6日に全校生徒を対象に原爆について話してほしいと頼まれ、いつものとりくみができないのは気になりましたが、頼まれればやはり引き受けなければと、OKの返事をしたためできませんでした。

福岡市内のほとんどの学校が夏休み中の原爆についての学習をやらなくなっています。今「やらなくなった」と書きましたが、「やれなくなった」という方が正確かもしれません。教員時代、夏休み中の平和学習の是非について

職員会議で何度となく議論しました。反対論の中には「こんな暑い時に学習しても効果がない。」「7月の学期末や9月になってやればいいじゃない。」という意見があります。こうした意見に対し、この暑い日に暑さを体感しながら当時のことを考えることはとても大事ですし、新聞やテレビで8月になると戦争と平和についての報道や番組が多くなされ、社会の関心が高まっている時だけに絶好の機会だと反論しました。また、平和学習にとりくむことによって、教職員の平和に対する意識の向上にもなると考えていました。今度はどんな授業をしようかと考えます。教職員はそのたびに、資料を読み、そのことから戦争や平和について改めて向き合っていたと思います。

学校に求められるものは年々増え、教員は多忙な毎日を送っています。しかし、仕事内容が取捨



ゆり組



ひまわり組

選択されていく中、人権や平和に関する分野が切り捨てられていくようでは困ります。それだけにまだ夏休みの平和学習を頑張っているところから頼まれると、どんなに遠くても出かけるようにしています。今回のテーマは、「戦争を被害と加害の面から考える」としました。広島の実態だけでなく、日本軍が中国をはじめアジアの国々でどんなことをしたかを、自分の足で訪ね、そこで見たこと聞いたことを紹介しながら話す予定です。

※3枚の写真は、「プール開き」の様子です。